

神奈川県異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第86号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

相談活動と異業種連携コーディネーター活動の発展のために

芝 忠

皆様、1年間お世話になりました。来年もよろしくお祈りします。

さて、今回は中小企業に対する支援事業の中で最も基本的な手段である「相談」事業について考えたいと思います。この手の「相談窓口」は多数存在しますが、相談解決手法をもう少し分類すると、

- ①□その場で対応する人の知識・経験の範囲で満足できる段階から、
- ②□実際に企業や関連の現場を見たり、話を聞いたりして考える段階、これを行政用語で「現地指導」とか、アドバイザー派遣と称しています。通常、予算が伴うレベルです。
- ③□次に1回や2回の視察相談では不足の場合、現地指導件数の増加や、アドバイザー契約を別途行い1～2年程度の相談にのるという段階がある。
- ④□さらに長期の課題解決策としてビジネスコーディネーターを担当させ、異業種連携を加味して、製造や販売、行政なども含んだ課題解決グループを設立、年次を超えた支援を行うプロジェクト制度が生まれました。いわゆる「異業種交流センタープロジェクト」の活動です。

この手法は反響を呼び、大阪商工会議所や山口県・愛媛県などでも参考とされました。現在は神奈川産業振興センターの産学連携コンソーシアム事業や、企業間連携事業として残っていますが、予算的には縮小、消滅されそうな気配です。

もともと経営と技術の総合的相談態勢が祖上に上ったのは1960年代の半ばで、戦後の復興期の対応では能力不足が感じられるようになり、経営診断・指導機関と技術試験研究機関の統合策が国から提案されました。現在でも総合指導所として京都府や山口県の公設試験研究機関に名残を残しています。

神奈川県工業試験所で各技術部門を糾合した「総合相談」態勢が生まれたのが1980年代です。この態勢はいずれも中小事業者の相談内容が高度化し、困難性が増し、なかなか1人の知見だけでは有効な解決策が生み出せなくなり、経営と技術の一体化路線が重視されたからです。現在ますますその度合いが増していると考えられ、産業振興センターでも県産業技術センターからの応援をもらっています。

さて①や②、さらに③においても、現実には相談者にとってまだまだ十分な満足度に達していないのではないかと懸念されます。というのは相談者が怒ってエレベータ内で不満をぶちまけているところを何回か見かけたことがあるからです。「こんなところに来るのではなかった」とか「やはり東京に行けば良かった」とか、原因はともかく、不快な感じで帰られたようです。産業振興センターや行政側としても深刻な問題です。

つぎの④が最善策かどうかはわかりませんが、少なくとも異グ連のプロジェクト制度として残っている“まんてんプロジェクト”などは中小製造業の仕事確保策として重要なグルーピング活動の事例です。“日韓ビジネス協議会”、“サロン事業”なども広い意味でプロジェクト制度の流れを汲むものです。

こうしたプロジェクトは課題解決の方法をどのように案出するかという企画力が問われます。相談機能の中にこうした企画力がなくて、以前異業種交流センターのビジネスコーディネーター制度の設立はその企画能力が評価され、予算化されたわけですから。この場合、相談担当者にその企画力が求められます。自身の知見を切り売り(?)するだけでなく、目標達成の方向を具体的にプロジェクトとして設定されれば、全国各地にたくさんのプロジェクトが生まれる筈です。航空宇宙ではコンソーシアムという形ですでに20近いグループが誕生しています。目に見える形になると相互の連携も可能です。

4千名といわれる川崎の「サポートクラブ友の会」も15年前はわずか数名の「ふれあいプロジェクト」から始まりました。NPO「お葬式情報案内センター」もその分科会として設立されたようです。そこまで発展さ

せた当事者のご苦勞はともかくとして我々も改めてプロジェクト制度の原点に立ち戻り相談態勢を質的に高める必要があると思います。行政や支援機関も職員自ら、こうした企画力を十分發揮して相談の外部依存を考え直す必要があると思います。

産学官交流サロンのコーナー

第35回よこはま 新産学公交流サロン開催案内

日 時：2009年12月16日(水) 18:00~20:30
場 所：神奈川中小企業センタービル 5F
話 題：「本当に就職難？貧困？」
 (株)豊商会 秘書 森 秀代氏
参加費：1000円(ビールおつまみ、資料代)
申込み：織方、岡田、杉本、芝
 tel045-633-5142 fax045-633-5194

第36回三浦半島経済人サロンの開催案内

日 時：2010年01月18日(月) 18:00~20:30
場 所：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室
話 題：「ボランティアの目から見た観光」
 あしなみ会々長 中林千明氏
 みうら観光ボランティアガイド協会々長 田中健介氏
参加費：1000円(ビールおつまみ、資料代)
申 込：八幡 tel 045-633-5142、鶴野 046-836-6785

おなじみ尾上町サロン(ぶらり参加大歓迎!!)

異グ連事務所の年末年始は、12月25日(金)執務終了、1月4日(月)執務開始です。そのため1月の尾上町サロンはやや変則となります。(執務開始の1月4日は臨時サロンを開催します)

日 時：原則第一・三金曜日(12月18日、01月04日(月)、01月15日) 17:15~19:30
会 場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所 話 題：自由に持ちより(テーマの事前予約OK)
会 費：1000円(現物も大歓迎) 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142 fax045-633-5194

第24回西湘サロンの開催案内

日 時：2010年01月18日(月) 18:00~20:00 場 所：あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F
話 題：「最高の解決案を短時間で手に入れる方法—TRIZ/USIT」
 (株)創造性工学研究所 代表取締役 三原祐治氏
NPO 法人日本 TRIZ 協会は、創造性向上を通じて、技術革新・産業活性化・生活/文化の向上、そして持続可能な地球環境維持に寄与していくことを目指しています。三原氏は日本 TRIZ 協会の副理事長です。
会費：1000円(ビール、おつまみ付) 申込：島津、吉池、芝 045-633-5142 fax045-633-5194

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

第103回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳BC

昨年は忘年会を行いましたので今年には下記内容で新年会を開催致します。従って12月度は休会となります。

日 時：2010年01月20日(水) 協議会 16:00~17:00 新年会 17:30~19:30
新年会は「だんまや水産」桜木町店 045-231-2239 で行います。

場 所：神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室

内 容：「韓国部品素材専用工団視察ツアー報告」(株)日韓産業技術協力財団・部長 北林 均氏

関心がある企業の参加者を歓迎致します。申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

第102回(11月25日)日韓ビジネス協議会定例会報告

高橋導徳BC

内 容：○日本企業紹介・・・企業、店舗などの販売促進企画 (株)ノーブランド 後藤ようこ氏
○第3回日韓経済シンポジウム報告・・・(株)日韓産業技術協力財団・部長 北林 均氏
○日本企業紹介・・・人事コンサル (株)ネクストキャリア ジュニアマネージャー 本田 徹氏
○「2009年度・国際中小企業異業種交流シンポジウム」の報告・・・異グ連交流AD 児玉英二氏
○メイン講師『鳩山政権と日韓海底トンネル』友情新聞 新聞記者 末廣 信氏
鳩山政権発足後に、韓国のマスコミが日韓海底トンネルについて特集している。鳩山・李両首脳は日韓海底トンネルの建設に非常に高い関心を持っている。来年は、日韓併合100周年という節目の年であり、「日韓海底トンネル」が提唱される可能性も極めて高い。未来志向の日韓関係の架け橋になることを切に望みたい。

<p>シフト21 【http://www.shift21.jp/】 有村知里BC</p> <p>12月定例会はオーガニック蜂蜜専門店「蜂蜜王国」代表の池田尚子様、「甘いだけじゃない・蜂と蜂蜜の不思議」というテーマで、西洋では数千年前から菓だった蜂蜜の歴史、蜂蜜で寿命が10年延びる食生活など、経営者の健康づくりに活用できる方法を伺いました。</p> <p>1月定例会は、新たな年のはじめに、会員の事業プレゼンテーションを行います。相互の事業理解を深めて、異業種交流会としてのネットワーク強化を図ります。(定例会開催は、1月12日(火) 18:30~20:30 かながわ県民センター303会議室)</p> <p>シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。(原則第二火曜日開催)ゲストの皆様に参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村まで。arimura-c@nifty.com</p>	<p>まんてんプロジェクト 千田BC</p> <ul style="list-style-type: none"> ●11月4日～6日、東京ビッグサイトにて航空宇宙産業展が開催され、まんてんプロジェクトは新潟市のブースにて展示した。海外のグループなど多くのコンタクトができた。 ●11月19日に川崎産業振興センターにて「航空機等先端産業参入フォーラム」が開催され、2日目にまんてんグループの紹介と、まんてん参加企業の事例として3社が発表し、大変好評であった。 <p>また同日神奈川産総研によるセミナーにてまんてんプロジェクトの総括的な報告を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●静岡工業試験所が、航空宇宙参入を目指して静岡地域の企業を対象に、参入セミナーを開催したが、まんてんプロジェクトは先進的な事例として紹介を行なった。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

お知らせ等

新たな技術で明日を開く「第31回工業技術見本市 “テクニカルショウヨコハマ 2010”

日時：2010年02月03日～05日 10:00～17:00

場所：パシフィコ横浜展示ホール C・D 横浜市みなとみらい1-1-1

神奈川県異グ連と会員グループが、第一日目の02月03日(水)に次のセミナーを開催します。

- 14:00～14:50 A会場 “NPO法人 たくみ21”
- 14:00～14:50 C会場 “C&Sグループ” 「中小企業のためのやさしい会計と緊急資金繰り対策」
- 15:00～15:50 C会場 “まんてんプロジェクト”
- 16:00～16:50 C会場 “神奈川県異グ連” 「県中小企業活性化推進条例の活用方法」

**【予告】 シフト21からの提案
政権交代後の中小企業施策の方向性**

・・・皆で考えよう！・・・

日時：2010年3月9日(火) 18:30

場所：かながわ県民センター

“中小企業施策の方向性について”

講師：<http://kickoff310.weblogs.jp/>

神奈川県選出の水戸まさし参議院議員

定員：60名

詳細は後日ご案内いたします。

お問合せはシフト21事務局 有村まで。

arimura-c@nifty.com 045-508-6433

補助金・助成金【SBIR制度説明・無料相談会】

制度を上手に活用するために無料説明・相談会を開催いたします。説明会では本年度の制度説明や申請書の書き方に重点を置き、事例を多数盛り込んだ内容です。個別に行なわれる相談会では様々な補助金・助成金等の中から具体的に取得可能な制度と一緒に検討します。

●日時：2010年2月23日(火) 13:30(説明会)、15:30(個別相談会)

●場所：神奈川県中小企業センタービル6階(大研修室)

●内容：中小企業技術革新(SBIR)制度の概要説明や申請書の書き方及び個別相談会 ●申込み期限：開催日前日まで

●申込み・お問い合わせ：(社)日本技術士会神奈川県技術士会

<http://www.e-kcea.org/p/sbir/index.htm>

tel 045(210)0337 kcea@k06.itscom.net

中小企業産業財産権出願等支援事業 特許庁委託事業・(社)発明協会

知財専門家が直接中小企業を訪問し、知財の取得から活用までの全般にわたる相談を**無料**で行います。

相談内容(出願手続き、先行技術調査、中間手続き、無効審判、登録、権利侵害、契約、外国出願など)

まずは電話で！ 東京支部 03-3502-5521(直 03-6424-5081)、神奈川県支部 045-633-5055(直 045-306-9566)

第7回県西産業フェア（神奈川県）**日程：H22年02月12日（金）～13日（土）**

場所：神奈川県足柄上合同庁舎2階大会議室 他

内容：企業・団体の事業紹介・製品の展示
受発注取引斡旋相談会 など

主催：県西産業フェア2010 実行委員会

問合せ：県西総合センター商工観光課

Tel 0465-83-5111(291)

ビジネスプラン実践講座（受講料8,000円）**日程：H22年01月16日～3月6日 全8回**

場所：神奈川県中小企業センタービル6階大研修室

内容：起業家の心構え、ビジネスプラン、ホームページ
の活用、開業・契約、資金調達、など

主催：(財) 神奈川産業振興センター事業化支援部

問合せ：同上ベンチャー支援課

Tel 045-633-5203 venture@kipc.or.jp**商売繁盛塾（無料）****日程：H22年01月28日～3月9日 全7回**

場所：川崎商工会議所、川崎市産業振興会館、他

内容：商売繁盛の極意、コスト0円の販促、仕入れコ
スト削減、ファンづくり、視察会 など

主催：川崎商工会議所中小企業振興部

問合せ：川崎商工会議所幸支所

Tel 044-555-0301 saiwai@kawasaki-cci.or.jp**計量展示会（無料）****日時：H22年01月19日（火）13:00～17:00**

場所：川崎市産業振興会館 1階ホール

内容：メモリー付デジタル台秤、高精度電子台秤、充填
機、ゴミ計量、無線計量機 など多数展示参加企業：(株)メジャーテックツルミ、(株)クボタ、ダイワ
製衡(株)、寺岡精工(株)、新光電子(株) など

問合せ：(株)メジャーテックツルミ 044-244-4379

投稿のコーナー

異グ連活動も訓育の場に

C&Sグループ会長魚崎誠也

11月27日に東京・芝で高校のクラス会があった。高齢者21名の出席であったが、15年ぶりに出てきたK君がいた。クラス会は毎年開催しておりK君は久しぶりの顔合わせである。彼はまだ現役であり、某大手の特別顧問であり、政府の委員などをいまだ引き受けている。彼は、久しぶりの挨拶で、このままでは日本はダメになるという話をした。

K君の心配しているのは、色々あるが、最大の課題は教育である。さもありませんと同感した次第である。K君によれば、大学の総長も、学校が独立行政法人になったため、経営者になってしまい教育の根源を忘れたような状況のようであると言っていた。

今朝の朝日新聞の一面に、「日本企業の中核に着々」という題名で華人留学生の進出が多くなってきた様子を報じていた。華人留学生の向上心というか成功しようとする意欲が凄いということであった。日本人が海外に留学する場合も同じであり、現地の学生から見たら日本人は凄いという評価になるのでそう驚くこともない。しかし、これら華人留学生を将来日本企業で多く採用したいという経営者の話が最後にあり、安心はできない。

このような環境を考えると、我々異グ連の活動の中にも、教育というか、訓育の場を提供するようなカリキュラムを設けてもよいのではないかと考えた次第である。いわゆる学校教育ではなく、実務社会へ出たときの成長を促進するような教育である。また、我々に出来ることといえばそのようなことである。異グ連の芝専務理事はすでに関東学院大学でこの趣旨に沿った講義をしている。

事務局のコーナー

事務所は12月26日（土）～1月3日（日）までお休みです！！**神奈川県異業種グループ連絡会議** 交流アドバイザーが話しております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】 村上 嘉男 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 (芝 忠) 杉本 明子

【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ！